

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護経過記録の中で、入居者様の日々の様子をより具体的に詳しく記録し、気付きや観察の力を養い、介護計画に沿った援助が行なわれているかどうかを記していく必要がある。	毎日の介護経過記録の内容を充実させ、入居者様の様子を細かく記したものとなるようにし、介護計画の実践状況を確認できるものとする。	各ミーティングの中で、介護経過記録の記入方法について、振り返り、確認を行なう時間を設け、職員各自が意識できるようにしながら、日々の業務の中で、実践できているかその都度確認していく。	12ヶ月
2	23	入居者様お一人お一人の希望や、意向を把握し続けていくために、日々寄り添い、言葉や行動の変化を読み取る必要がある。	特に長年ホームで暮らされている入居者様に対して、馴れ合いになってしまわず、あくまでの現在の状況を踏まえて、今求められているものを把握していく。	ミーティング、ケアカンファレンス時において、入居者様の現状をしっかりと把握し、その希望や意向が何であるかを職員同士で意見交換し、統一されたケアとして、その実現に向けて実践していく。	12ヶ月
3	7	高齢者虐待防止の取り組みを継続し、「不適切なケア」が行なわれていないか意識を持ち続ける必要がある。	介護職としての自らの言動を見つめ直す機会を多く持ち、日々、高齢者虐待防止の意識を継続する。	朝礼や、申し送り、各ミーティングの開催時に、日頃の言葉使いや、入居者様への接し方を見つめ直す機会を設け、職員同士が注意し合える雰囲気作りを行なう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。